



日本共産党・前都議会議員

そねはじめレポート

2012年 10月 3日発行 第 58 号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

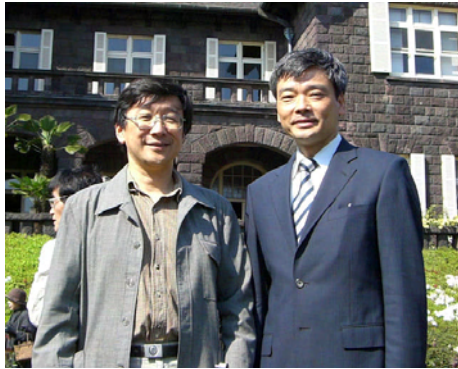
Tel: 3907-1135

Fax: 3906-3225

本都区議の
質問に答弁

印刷局病院に公的支援と関与が一步前進

古河庭園を見学するそね前都議と本都区議



北区も譲与選定参加、税も減

◆9月18日議会報告

地下鉄西ヶ原駅隣りの印刷局東京病院は、これまでの公的医療機関に譲渡方針から今年1月に「民間も含めて売却」に閣議決定されました。北区は本レポート56号で報じたように「夜間救急充実」「現行診療科継続」など十項目の意見を付したことが九月十八日の健康福祉委員会で報告されました。

◆区の要望守れる保障は

共産党の永井・福島委員の質疑で、こうした区の要望を実現する方法として、北区から同病院の譲与先

印刷局病院の横で放射能を測定する本都区議ら



選定委員に区の職員が二名加わることも明らかにされました。

また本田正則議員が、決算委員会で質疑し、病院を運営することになる医療機関が、滝野川地域でゆい一つの救急告示病院の役割を充実できるよう、区の支援や働きかけとともに、広い敷地への固定資産税負担の軽減が必要と質しました。区は、国が定期借地権での譲与を考えており、固定資産税が減免される見通しと答えました。

◆政府の姿勢見極め再度

本都区議は「印刷局病院を元気にする会」の皆さんと共に地域医療のとりでとして守り抜く決意です。

都の防災計画素案で死者を6割減らすというが

東京都が9月12日発表した防災計画案は、4月の地震被害想定で最大9641人の死者を6千人減らすなど減災目標をうちだしました。しかし計画には大きな落とし穴があります。

■命を守る課題を都民の自己責任に

第1に震災から命を守る決定的役割を都民の自己責任にしたこと。阪神で住宅倒壊による死者が9割を占めたのに、都の木造住宅耐震工事助成の実効性が低いのを放置しました。

第2に、関東大震災のような火災延焼は広い道路で防げるとして消防力や地域の防火活動支援より3環状等大型道路に重点化したこと。

第3に、都の公共施設の耐震目標があいまいで堤防など海岸施設の計画が遅れています。

さらに原発被害についても、都内にないからと「都民避難は迫られない」「心理的動揺や混乱を低くする」など甘いものになっています。

共産党が求めてきた帰宅困難者対策、中小病院の災害医療位置づけ、分電盤の感震機能普及など前進もあります。

■北区の不燃化プロジェクト道路も見直しを

北区では西ヶ原の補助81号線はじめ、十条、赤羽西の無理な道路計画の押し付けを見直させることが大きな課題です。

写真は王子駅で訴えるそね前都議・山崎区議



共産党だからこそ領土も堂々主張！

★二つの代表選をどう見るか

民主党代表選挙では、国民への約束をほとんど破り、やらないはずの消費増税をゴリ押しした野田首相が圧勝し、野田氏よりはるかにましな原発ゼロ、弱肉強食の新自由主義経済やTPPはノーの政策を訴えた候補は惨敗でした。

もっとひどいのは自民党総裁選です。オスプレイ配備も原発再稼働も推進、改憲と自衛隊の参戦権などタカ派政策で見事に一致した2世3世候補が勢ぞろいで、最も危険な安倍晋三氏が当選しました。

★右傾化の陰に維新の会

なぜこれほどタカ派ぶりを競うのか・・・超タカ派の橋本・維新の会の勢いを借りないと政権を取り戻せないという思惑からではないでしょうか。

★タカ派の弱点ついた中国政府

タカ派政権になったら日本は良くなるどころか、尖閣諸島をめぐる動きを見てもコワモテの対応で紛争を拡大しかねません。

しかも中国政府は「尖閣は日本が戦争で盗んだ」と言いだしました。この論争で自民や民主の主な政治家が、当時の侵略戦争に無反省な姿が露わになれば国際的に信頼を失い領土問題でも不利になってしまいます。

★戦争反対貫いた党らしく

先日、志位委員長が日本と中国の政府に、尖閣問題を交渉で解決をと申し入れました。

中国の大使には直接会い、在留邦人と企業の安全を守り暴動を放置する態度をとらぬよう、日本政府には「領土問題は存在しない」と論争を避けるのをや

そねはじめの訴え

め、領有の正当性を外交の舞台で主張すべきと提言しました。これを受け野田氏もようやく国連で演説しました。

私は、戦争に命がけで反対したわが党だからこそ、尖閣の領有は侵略戦争と無関係だと堂々と主張できるし、そこに自民や民主の歴代政権と異なるわが党ならではの大きな重みがあることに確信をもって連日訴えています。

赤羽ららガーデンで訴えるそね・池内



そねはじめ切り絵の世界<NO.6> 宮沢賢治の世界をさぐってみたが・・・

96年には宮沢賢治の生誕100年を記念してNHKが丸一日の特集番組を放送したり、地元の盛岡や花巻では遊園地みたいなイベントが組まれたりで、華やかでした。しかし家族で盛岡や小岩井農場を旅しても、賢治童話のアニメや映画を見ても、どれも何か嘘くさい気がするのです。

盛岡市内の川のそばに見つけた小さな賢治の座像は「こんな騒ぎは勘弁してほしいよ」と言いたげな表情をしていたので、なぜかホッとしました。

盛岡市内で賢治像前に立つ二人の娘



そこで自分の切り絵で描いてみようと思いましたが、スッキリし過ぎていて賢治らしくありません。やはり宮沢賢治の世界は山の上の原っぱや小さな森の中で、風に吹かれながら心の中に描くしかないのかもしれないかもしれません。

96年にNHKの賢治特集番組で一心に原体剣舞を踊る少年の映像をみて作った作品

